

令和6年4月24日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報告）

ア 令和6年度全国学力・学習状況調査について

※教育センター所長から資料に基づき説明

質問なし

イ 令和5年度浜松市立高等学校の部活動と進路等の状況について

※市立高等学校長から資料に基づき説明

（安田委員）10月の特別国民体育大会、なぎなたについての出場者成績にのみ、新潟○、京都●と表記があり違和感がある。

（教育長）表記を揃えるように。

（田中委員）文武両道で活躍していて、素晴らしいと思う。地元の中学校の生徒が市立高校に憧れて入学し活躍している。今後も活躍を期待したい。

（教育長）教員も子供に寄り添った指導をしている。

（鈴木委員）自転車事故のうち、被害事故13件はどのような事故形態だったのか。また、加害事故含め、スマホが関係するながら運転などがあったのか。

（市立高校）スマホを操作しているの事故は承知していない。いずれも大きな事故ではなかったがヒヤリハットということがある。事故が発生しないよう今後も継続して指導していく。

（黒柳委員）2年生、3年生になるとだんだんと気の緩みが出てくる。また、ゴールデンウィーク明け、5月・6月ぐらいが慣れも出てくる時期であるため、注意を促していただきたい。

（市立高校）初期の指導に加えて、継続的に指導していく。

ウ 令和6年度浜松市立小中学校児童・生徒数について

※教育支援課長から資料に基づき説明

（安田委員）佐藤小学校について、前年比で児童数が6人減なのに対し学級数が3も減っ

ているのはどのような理由か。

(教育支援課) 令和5年度は発達支援学級が9学級だったが、学年構成の関係で、今年度は6学級となったことによる。

エ 令和6年度浜松市立幼稚園園児数について

※幼保運営課長から資料に基づき説明

(安田委員) 熊幼稚園について、3人だった園児が1人になったということだが、どのように園を運営しているのか。保護者からの要望や合同での保育の実施状況、来年度の入園見込について説明してほしい。

(幼保運営課) まず園児数1名についてだが、園長を通じて保護者に状況を説明して思いを確認している。1名であっても今の環境が望ましいとの希望があった。熊幼稚園は小学校と併設であるため、小学生がおり、完全に1人での生活ということではないと認識している。

中山間地域では近隣の園との交流を行っており、熊幼稚園では上阿多古・下阿多古幼稚園と年に複数回、交流を実施している。

次年度の見通しについては、現時点では把握していないが、一人っ子の多い地域であるため厳しい状況だと認識している。

(黒柳委員) 3歳児が0人や1人という園は、しっかりと保護者の方に状況を伝えているのか。

(幼保運営課) 各園に入園の申し込みをいただく際に、園長から次年度の見込みを説明しているため、保護者も状況を理解した上で申し込みをされていると認識している。

(田中委員) 熊幼稚園の職員数はどうか。

(幼保運営課) 園長と一般職員の2名が在籍している。

オ 「こどもまんなか応援サポーター」の宣言等について

※こども若者政策課長から資料に基づき説明

(鈴木委員) ファスト・トラックの実施内容について、妊婦や乳児連れの方に限定したのはなぜか。

(こども若者政策課) 実施施設が浜松こども館と浜松科学館であり、ほとんどが子供連れ

であるため、その中でも特に大変であろうということで、妊婦の方、乳児連れの方を優先するという取り組みを実施した。

(安田委員) 優先されない他の方への周知はどのようにしたのか。

(こども若者政策課) ファスト・トラックの試行について掲示し案内した。こどもまんなか社会への意識の醸成に繋がったと認識している。

カ 市内の新たな県指定文化財について (文化財課)

※文化財課長から資料に基づき説明

質問なし

キ ※非公開

ク ※非公開